

16ポートギガビットスイッチ

株式会社イーツリーズ・ジャパン



導入企業概要

[企業名] 株式会社イーツリーズ・ジャパン



[代表取締役] 船田悟史

[住所] 〒192-0045 東京都八王子市大和田町2-9-2 大和運輸ビル3F

[TEL] 042-649-2322(代表) FAX 042-649-2344

[事業内容] ハードウェアの設計、製造、販売

[HP] <http://e-trees.jp/index.html>

コストパフォーマンスと信頼性を兼ね備えたネットギア製品

八王子に本拠地を構える株式会社イーツリーズ・ジャパンは「freeocean」というハードウェアの開発と導入を行なっているベンチャーだ。

freeoceanはイーツリーズ・ジャパンが独自開発したサーバーである。OS上で動作するWebサーバーはソフトウェアだが、freeoceanはWebに使われるプロトコル「HTTP」をFPGA(Field-Programmable Gate Array)と呼ばれるLSIに実装、さらにTCP/IPスタックやイーサネットの物理層までをハードウェアで処理することで通常のWebサーバーソフトウェアをはるかに上回るパフォーマンスを実現するという。

その性能は非常に高い。同社代表取締役の船田 悟史氏によると「大手ポータルサイトにテストしてもらったところ一般的なPCサーバーに比べ15倍以上というデータが出ています」という。つまり、15台の一般的なPCサーバーを1台のfreeoceanに置き換えることができるのである。

その結果、サーバーの台数が減り「管理の負担を下げることができますし、だれでも大規模なWebサイトを運営できるようになります」(船田氏)。もちろん、台数が減ることでサーバーのラック数を減らすことができ、ホスティングにかかる費用を大幅に削減できるほか、昨今は大きな問題となっている電力消費も減らすことも可能になる。freeoceanは、大規模なWebサイトを運営している企業に向けた、同社の強力なソリューションになっているわけだ。

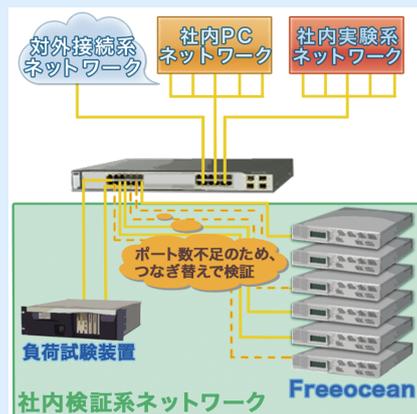
イーツリーズ・ジャパンの社内には、毎秒90,000回以上のHTTPアクセスを発生させる負荷試験装置WebAvalanche 2700(Spirent Communications社製)を使ってfreeoceanの動作を検証する環境が(社内検証系ネットワーク)構築されている。

従来は某大手メーカー製Layer3スイッチを使ってfreeoceanとWebAvalanche 2700を結ぶテスト環境を作っていたが、テストするfreeoceanや社内コンピュータの台数増加にともなって検証を行うネットワークを独立させる必要に迫られたという。

ところが、その新たに導入するスイッチが問題だったという。そもそも、WebAvalanche 2700の高負荷に耐えるスイッチは過去に同製品だけだったと船田氏は語る。

「WebAvalanche 2700とfreeoceanを直結した状態では何の問題もないのに、スイッチをはさむと途端に性能が出なくなってしまうということが起きます。普通のスイッチはパケットバッファが少ないようで高負荷環境ではパケットがロスしてしまうんです」。

高負荷環境でパケットロスがないスイッチとして同社で使われ続けてきたのが同大手メーカーの製品だったそうだが、非常に高価なスイッチなので気安く導入するわけにはいかない。そんな中、今回導入し驚くべき結果を出したのがネットギア製の16ポートギガビットスイッチ「GS716T」だったのである。



従来のネットワーク構成図

高負荷に耐えたGS716T。

10ギガビットイーサネット対応機の開発にもネットギア製スイッチの導入を検討

イーシリーズ・ジャパンが導入したネットギア製スマートスイッチGS716T-200JPS (16ポート ギガビット)は、レイヤー2プラスレベルの機能をサポートする16ポートギガビットスイッチだ。レイヤー2によるプロテクトポートやトランクポートをサポートするほか、IPアドレスを用いたアクセスコントロール機能や、IEEE802.1xベースのセキュリティ機能など豊富な機能が実装されている。

そんな豊富な機能と同時に高い性能と信頼性を備えるのがネットギア製のスマートスイッチGS716T-200JPS (16ポート ギガビット)の大きな特長である。通常ではありえないほどの高負荷をテスト機にかけるイーシリーズ・ジャパンの検証系ネットワークで利用してもまったく問題はなかったと船田氏は驚く。

「まったく問題ないですね。WebAvalanche 2700で負荷をかけ続けながらfreeoceanに他からアクセスしても問題がなく驚かされました」

ネットギア製のスマートスイッチGS716T-200JPS (16ポート ギガビット)は高額な大手メーカー製のスイッチの代役をトラブルなく務めているわけだが、それ以上に満足できる点もあったという。たとえば、GS716Tは冷却ファンがないという点だ。「ファンがないのはいいですね。ファンは音がうるさいし、いずれ壊れる厄介なものですから」(船田氏)。

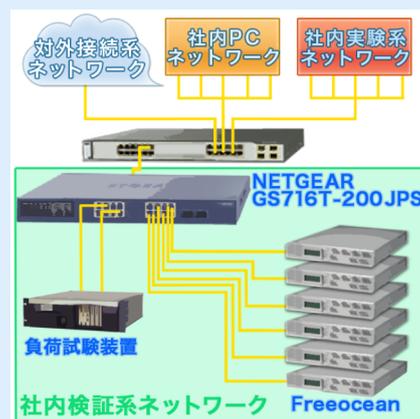
ネットギア製のスマートスイッチGS716T-200JPS (16ポート ギガビット)は発熱が少なく、冷却ファンが不要となっている。発熱の小ささは省電力の証でもあり、

船田氏が語る故障の少なさに直結する以外にもランニングコストの低減に効果を発揮するだろう。

さらに、本機は「ライフタイム保証」が謳われているのも大きな特長だ。使用年数に関係なく無償で修理、交換することが保証されているので「その点も安心できます」と船田氏はいう。

現在のfreeoceanはギガビットイーサネットに対応するが、イーシリーズ・ジャパンでは、次世代機として10ギガビットイーサネットに対応のfreeoceanの開発を検討している。10ギガビットイーサネットの検証系ネットワークにもネットギア製品の導入を検討しているそうだ。

「大手メーカー製の10ギガビットイーサネット対応スイッチはとて高価で容易には導入できません。ネットギア製のスマートスイッチGS716T-200JPS (16ポート ギガビット)がギガビットイーサネット環境で高い安定性を見せてくれましたから、10ギガビットイーサネット製品も大丈夫だろうと思っています」



GS716T-200JPS導入後の構成図

16ポート ギガビットスマートスイッチ GS716T

価格: ¥65,100 (税込)

特徴

ハイパフォーマンス

SFP GBICコンボポート×2
(オプションで光ファイバ利用の長距離高速通信が可能)

環境に配慮した省エネ製品

ポートの使用状態やケーブルの長さを自動で認識、電力を調節する「パワーコントロール機能」

レイヤ2管理機能

VLAN、トランクポート、IPACL、802.1xセキュリティ機能、QoS (Quality of Service)、SNMP v1,v2c,v3サポート

プロテクトポート

設定されたポート間での通信を遮断

ネットギアのGUI管理ツール「Smart Control Center」

設定、管理が容易なWebベースの管理ツール



NETGEARのスイッチは、全機種「ライフタイム保証」

お客様が対象製品をお持ちの間は、無期限で故障に対する保証をさせていただきます。追加料金は一切かかりません。不具合がハードウェア故障によるものと判断された場合、その交換回数に制限はありません。どうぞ安心してNETGEAR製品をご利用ください。

* NETGEAR、NETGEARロゴ、Connect with Innovation™は、米国およびその他の国におけるNETGEAR, Inc.の商標または登録商標です。©2012 NETGEAR, Inc. All rights reserved.

製品に関するお問い合わせはこちら

フリーコール
0120-921-080

携帯・PHSなどからご利用のお客様 TEL: 03-6670-3465

平日 9:00~20:00 / 土日・祝日 10:00~18:00

NETGEAR®
Connect with Innovation™

Powered by
zigSOW